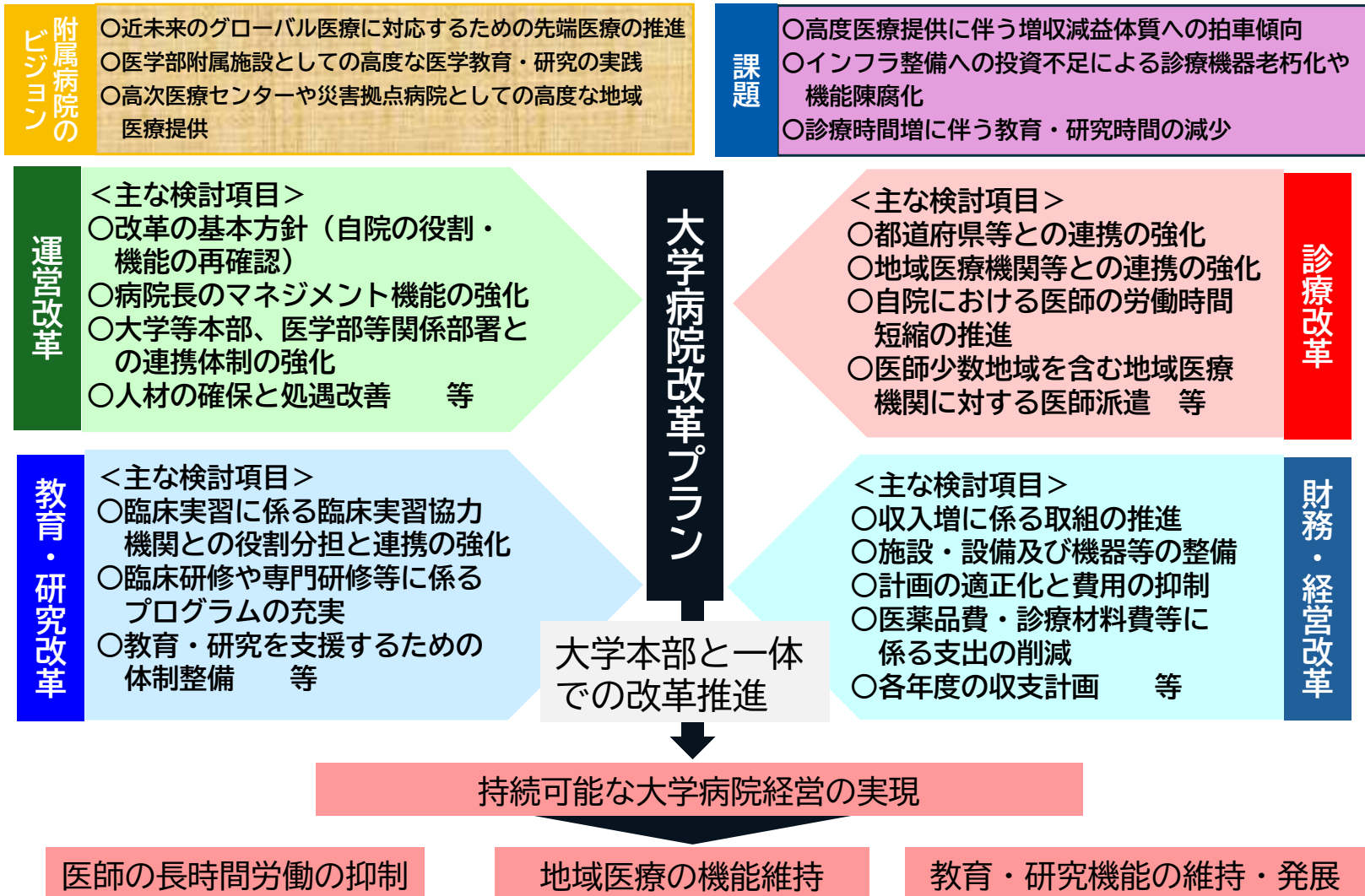


# 大分大学医学部附属病院改革プランの概要



令和6年(2024年)6月

# 大学病院改革プランのイメージ



# 運営改革の概要

## 《役割・機能の設定における基本方針》

- 県内唯一の大学病院・特定機能病院の機能を発揮し、「地域医療における最後の砦」として、地域社会へ貢献する
- 地域医療と大学の教育・研究機能を両立させるため、地域における役割は、自治体、医師会、地域の医療機関等とともに検討する

## ①自院の役割・機能の再確認

### 1)医学部教育・研究に必要な附属施設としての役割・機能

- ・“地域医療を担う”質の高い医療人を育成するため、地域で最も充実した実習・研修を提供する教育施設・医学研究と連動し、“大学の強みと特色を生かした臨床研究”を推進し、社会実装へ繋げるための研究施設

### 2)高度専門医療人養成の研修機関としての役割・機能

- ・地域において最も質の高い研修プログラムを提供し、高度な医療人を“地域”へ輩出する

### 3)医学研究の中核としての役割・機能

- ・附属病院の人的・物的リソースを医学研究に活用するなど、医学研究を支える

### 4)医療計画・地域医療構想等と整合した医療機関としての役割・機能

- ・県内唯一の大学病院として、医師派遣及び医師偏在に関する課題解決を主導する
- ・豊富なリソースを活用し、「大分県医療計画(第8次)」、「地域医療構想」実現を支援する

## ②病院長のマネジメント機能の強化

### 1)マネジメント体制の構築

- ・組織横断的に病院長がリーダーシップを発揮できるマネジメント体制を構築

### 2)診療科等の人員配置適正化等を通じた業務平準化

- ・他職種連携によるタスク・シフトを推進し、人員の適正配置等を検討
- ・将来の疾患別患者数の変化等に応じた適正配置を検討

### 3)病床の在り方をはじめとした事業規模の適正化

- ・地域の医療需要から、必要な機能を有する病床確保

### 4)マネジメント機能の強化に資する運営に係るICTやDX等の活用

- ・ICT活用によりマネジメント機能を強化

## ③大学等本部、関係部署との連携体制強化

- ・本学関係各所と附属病院が連携し財務情報等の分析・活用により、病院の意思決定を支援する組織体制を検討する

## ④人材の確保と処遇改善

- ・タスク・シフト等、医師の負担軽減により、医師の働き方改革を推進
- ・診療報酬改定を財源とした賃上げ等による職員の処遇を改善
- ・有能な人材確保のため、人事制度等の見直しを検討

# 教育・研究改革の概要

## ①臨床実習に係る臨床実習協力機関との役割分担と連携の強化

- ・FDによる臨床実習協力機関の教育力向上を図り、臨床実習協力機関との連携を強化

## ②臨床研修や専門研修等に係る研修プログラムの充実

- ・県外研修施設との連携による研修プログラムを開発
- ・研修環境の整備、指導体制・評価方法を構築
- ・講座と卒後臨床研修センターのコラボによる専門研修を実施
- ・看護師特定行為研修のパッケージ充実及び修学資金の支援等を継続実施

## ③企業等や他分野との共同研究等の推進

- ・産学官連携推進センターと連携し、本学の独創的で強みのある研究リソースを活用した共同研究を推進
- ・「挟間キャンパス研究力加速化検討会」において、研究資金獲得・社会実装に向けた戦略・方策等を検討

## ④教育・研究を推進するための体制整備

### 1)人的・物的支援

- ・”診療”、”教育”、”研究”を推進する最先端設備の導入とともに、診療機器を医学研究で活用できる体制を整備
- ・働き方改革を実行し、かつ研究成果(論文数、外部資金獲得額)を維持・向上する研究環境を構築

### 2)制度の整備と活用

- ・バイアウト制度等の利用者増を図り、研究者の処遇改善、研究環境の整備を推進

腹腔鏡手術の研修指導



導入予定のPET-CT装置



## ①都道府県等との連携の強化

- ・大分県医療計画(第8次)で本院に求められる様々な役割を遂行、地域医療が抱える課題解決に挑む
- ・医師派遣や臨床研修機能維持のため、勤務環境の改善、チーム医療推進やICT等による業務改革を推進

## ②地域医療機関等との連携の強化

- ・大分県医師会及び大分県との連携強化に努め、地域医療の発展に貢献する体制を検討
- ・地域医療ネットワークの構築・活用により、地域医療連携を強化

医療関係者間コミュニケーション  
アプリ「Join」「Join」

Joinとは

医療従事者間コミュニケーションアプリ



看護師特定行為研修  
開講式の様子



## ③自院における医師の労働時間短縮の推進

### 1)多職種連携によるタスク・シフト/シェア

- ・組織的なタスク・シフト/シェアを継続的に検討・実施することにより、医師の労働時間短縮に挑む
- ・特定行為看護師の確保及び教育体制構築、処遇改善等により医師事務作業補助者を確保

### 2)ICTや医療DXの活用による業務の効率化等

- ・スマートフォンを活用した勤怠管理システムの改修等により、利便性向上を図る
- ・医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」と「おおいた医療ネットワーク」の活用により、業務効率化を図る

### 3)その他医師の働き方改革に資する取組

- ・特定看護師の育成推進とともに、看護師の資格取得を支援

## ④医師少数区域を含む地域医療機関に対する医師派遣

- ・地域枠や地元出身者枠を活用した診療科偏在の解消を検討

## ①収入増に係る取組の推進

- ・DPC係数改善により、診療単価の向上を図る
- ・新規患者の増加、手術件数の増加により、収益の向上を図る
- ・URAと連携し、強みである低侵襲医療や感染症研究を活性化させ、臨床試験による外部資金拡充を図る

## ②施設・設備及び機器等の整備計画の適正化と費用の抑制

- ・地域における医療ニーズの将来予測や収益性等を分析したうえで、必要な施設整備を実施
- ・施設整備・設備等導入後は稼働状況等を検証しフォローアップを実施
- ・施設・設備及び機器等の整備においては、多様な財源の確保、活用を検討

## ③医薬品費、診療材料費等に係る支出の削減

- ・医薬品コストパフォーマンス分析、他大学の情報を収集し、後発医薬品・バイオ後続品への切り替えを推進
- ・ベンチマークを活用し、効果的かつ継続的な価格交渉により医薬品費を削減

## ④その他財務・経営改革に資する取組等

- ・財務情報の分析・活用により、財務・経営改革を推進する仕組みを検討

